

プレスリリース

石元泰博 個展

2023年10月7日（土）－11月11日（土）

*アートウィーク東京期間中は日曜祝日も開廊いたします。営業時間も10時から18時までと致します。

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座8-10-5 第四秀和ビル7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

協力：PGI

東京画廊+BTAPでは10月7日（土）より、日米を行き来しながら活躍した写真家、石元泰博の個展を開催致します。

石元泰博（1921-2012）はアメリカ・サンフランシスコで農業移民の家庭に生まれました。第二次世界大戦中にコロラド州の日系人収容所アマチ・キャンプに収容され、そこで写真に初めて触れます。戦後の1948年に、バウハウスの伝統を受け継いだインスティテュート・オブ・デザイン（ID）に入学し、アーロン・シスキンやハリー・キャラハンの指導を受けながら、シカゴで写真家としてのキャリアを開始します。

1953年に来日し、代表作となる桂離宮シリーズを撮影。1958年にはシカゴと東京の人物・風景を捉えた初写真集『ある日ある所』を上梓し、戦後日本の芸術界に新風を吹き込みました。その後も東京を拠点に活動を続け、伝真言院界曼荼羅、伊勢神宮などの日本の伝統美や都市風景、ポートレイト、空、水など、IDで培った厳しい造形意識をもとに、独自の視点を示す作品を残しました。写真表現に限らず、デザイン、建築など戦後の国際的動向に深く関わる石元の功績は、文化功労者に選出されるなど、広く讃えられています。2020年～21年には、東京都写真美術館、東京オペラシティアートギャラリー、高知県立美術館の3館合同展覧会『生誕100年 石元泰博写真展 生命体としての都市』が開催され、大きな話題となりました。

本展では、1940年代から60年代の東京とシカゴの風景写真を中心に展示する予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

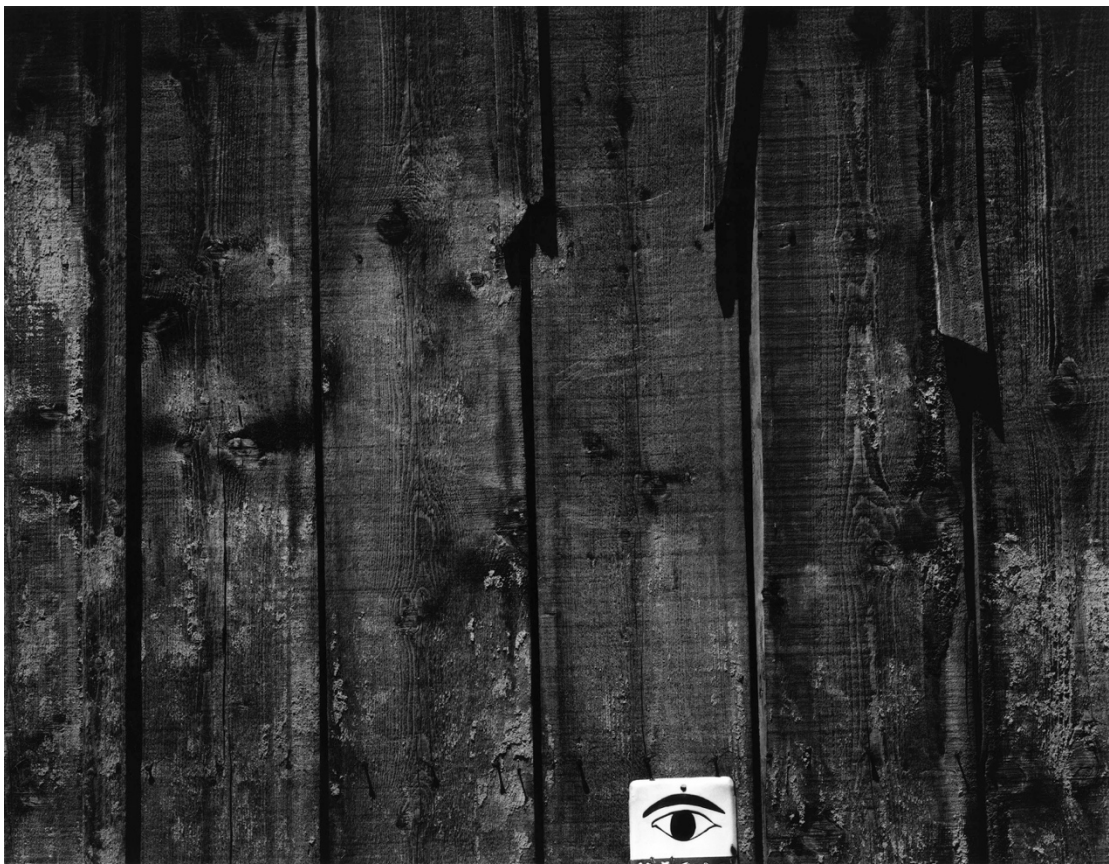
お知らせ

東京画廊+BTAP は「アートウィーク東京」に参加いたします。

アートウィーク東京は、東京を代表する 50 以上の美術館・ギャラリーが参加し、国内外の現代アートの創造性と多様性を紹介する国際的なアートイベントです。会場となる各美術館・ギャラリーを AWT バス 6 路線が結びます。東京画廊+BTAP の最寄りのバス停は、C ルートの「C3」です。

詳細など、以下アートウィーク東京のホームページよりご覧頂けます。

<https://www.artweektokyo.com>



©高知県、石元泰博フォトセンター

<東京> (1953-58) ゼラチンシルバープリント 19×24.3 cm

プレス問い合わせ e-mail: info@tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-土) 12:00-18:00
休廊日 | 日、月、祝

東京画廊+BTAP | 東京
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7 階
TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689
www.tokyo-gallery.com